

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 2月 1日

事業所名: SMASPO川西校

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に適した十分なスペースを確保することができている	楽しく取り組むことができるスペースがある	安全に配慮した上で、十分なスペースの確保を意識していく
	2 職員の適切な配置	職員の適切な配置をすることはできている	職員の適切な配置はできていると感じている	職員の適切な配置をキープできるように配慮していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	特性に応じ、本人がわかりやすい構造、情報伝達などに配慮した環境の設備整備を行っている	本人の特性に応じた環境整備ができている	特性に応じた設備整備の配慮ができるように注意して取り組んでいく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動に合わせた生活空間を確保し、清潔を保っている	子ども達が心地よく過ごすことができる空間を保つことができている	子ども達が心地よく過ごすことができるように清潔、クリーンな生活空間を意識していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々、業務の効率化を進めるために職員全体での共有を行っている		職員全体で、業務の改善や効率化に繋げることができるように目標設定と振り返りを意識した業務に取り組んでいく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在のところ、実施予定なし		今後、実施することができるように改善していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	随時、研修を受けることができるように体制を整えている		業務において必要な研修の機会を整えていく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを実施し、子どもと保護者の課題に向き合い、支援計画に繋げている		定期的にアセスメントを行い、支援計画に繋げることができるように進めていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動の中で、個別の活動に繋げることができることを意識した支援計画を作成を行っている	保護者の要望に応じた計画に沿った支援が行われている	集団活動の中で、個々の個別の活動を取り組むことができるように計画に取り込み計画を作成していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画には、支援に必要な項目の設定の記載を行っている		支援に必要な項目の設定の記載を意識して作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った支援の実施に繋げることができるように取り組んでいる	保護者の要望に応じた計画に沿った支援が行われている	支援計画に応じた支援の実施に繋げることを意識して取り組んでいく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体で、日々、時間帯、子ども達に応じたプログラムの立案を行っている		引き続き、職員全体でプログラムの共有を行っていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、土曜日に関係なく、変わらない支援を行うことができる	子ども達が、それぞれ楽しく取り組むことができている	引き続き、変わらない支援に取り組んでいく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員全体で、変化があり、楽しく取り組むことができる取り組みを行っている		常に変化のあるプログラムの提供ができるような工夫を行っていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に、職員間での情報共有を必ず行っている		引き続き、職員全体でプログラムの共有を行っていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に、職員間での振り返りから次回の支援へ繋げている		支援終了後の振り返りからの情報共有、次回への支援に繋げていく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援の記録は、日々行っている 次回の支援に繋げることができるように検証を行っている		引き続き、支援の記録を行い、今後の支援に繋げることができるように検証、改善を実施していく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施を行い、支援計画の見直しを行っている		引き続き、定期的なモニタリングを行い、次回の支援計画に繋げていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	地域的にサービス担当者会議は積極的には行われていないが、相談員とは情報共有をすることはできている		サービス担当者会議を行うことができる機会を作っていきたい
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	非該当		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	非該当		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者からの希望により、関係機関との情報共有を行うことができている		引き続き、保護者からの希望により、関係機関との情報共有を行っていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	非該当		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	積極的には、研修への参加はできていない		積極的に機会をつくり、研修に参加していきたい
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流を行うことはできていない	行われていない	今後、交流を行うことができる機会を考えていきたい
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民への招待などはできていない	行われていない	世の中の状況に応じて、対応していきたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学、契約時において、説明を行っている	見学、契約時において、説明が行われている	引き続き、行っていく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の提示を行った上で、説明を行っている	支援計画の提示の上で、説明を受けている	支援計画を提示し、説明を行っていく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者には、子ども達に対する対応の仕方のアドバイスを行っている	相談をするとアドバイスなどの話を聞くことができる	講習会などを開催していく方向で取り組んでいる
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時などに、情報共有を行うことができる	送迎時などに、情報共有を行うことができる	送迎時などに情報共有を行い、共通理解に繋げていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの悩みなどには、その都度、対応することができる	その都度、相談することができ、対応して頂くことができる	保護者が相談することができる環境を作っていく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	イベントなどの開催時に、簡単な交友の機会をつくることはできている	イベント時に他の保護者との関わりを取ることができる	保護者同士の連携支援を取ることができる機会に繋げることができる環境を整えていきたい
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しては、その時に応じて、素早く対応することに努めている	すぐに対応されていることを感じている	日頃からコミュニケーションを取ることで苦情になる前に、関係を整えていく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	細やかな連携を取ることに努めている	わかりやすい提示がみられる	細やかに伝えることができるように、日頃から努めていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の支援状況の報告、イベントの開催などの発信を行っている	毎月の子どもの状況やイベントなどの発信が行われている	日頃の子どもの状況の発信、イベントなどの発信などを行っていく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取扱いに関しては、十分な管理を行っている	個人情報の管理は、十分な管理がされていると感じている	引き続き、十分な管理をすることができるように、環境を整えていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時、防犯、感染症の対応マニュアルについては、職員間で周知・共有することができる	緊急時、防犯、感染症の対応マニュアルがあることを知っている	対応マニュアルに基づいて、職員間の共有を持つことができるよう取り組んでいく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に必要と思われる訓練を実施することができる	時には、子ども達も一緒に訓練に参加することがある	さまざまなことが起こることを設定に考えて積極的に訓練を行っていく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する職員研修は確保されている		定期的に虐待防止研修を確保することで適切な対応に努めていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束にあたる行為に関しては保護者に前もって提示を行い、同意を得ている		身体拘束に当たっては、事前に保護者に説明、同意を行っていく
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物を提供は行っていないが、エピペン対応が必要な子どもには、保護者の同意のもと、対応を行っていく		保護者の依頼があれば、対応を行っていく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに関しては、事務所内で職員間の共有を行っている		日頃から、ヒヤリハットに関することには職員間で意識を持って共有を行っていく